



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トラスト

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 誠英

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 長谷川 克彦

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 7,825 | 38.2 | 642 | △4.4 | 602 | △5.0 | 197 | △9.2 |
| 23年3月期第3四半期 | 5,660 | 64.2 | 671 | 155.9 | 634 | 112.0 | 217 | 53.0 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 311百万円 (△15.1%) 23年3月期第3四半期 367百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 762.86 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 839.95 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 13,590 | 4,074 | 26.3 | 13,805.57 |
| 23年3月期 | 12,425 | 3,759 | 27.7 | 13,312.06 |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,572百万円 23年3月期 3,444百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 23年3月期 | — | 100.00 | — | 100.00 | 200.00 |
| 24年3月期 | — | 100.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 100.00 | 200.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 10,874 | 40.1 | 943 | 14.0 | 869 | 12.4 | 308 | 19.1 | 1,190.96 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-----------|----------|-----------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期3Q | 281,500 株 | 23年3月期 | 281,500 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期3Q | 22,731 株 | 23年3月期 | 22,731 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期3Q | 258,769 株 | 23年3月期3Q | 258,769 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中であり、

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |
| (7) 重要な後発事象 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気低迷から回復の動きがみられましたが、欧州諸国の財政危機、タイの大洪水の影響等でさらに円高が進行・高止まりし、今後の景気動向については全く予断を許さない展開となりました。

このような状況のなか、当社グループは為替の影響を受け不安定な収益構造である中古車輸出事業を補完し、グループ全体で安定的な収益体制を構築するため、第1四半期連結会計期間より海外で新車販売事業を行うTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを連結の範囲に含め、また、当第3四半期連結会計期間より同じく海外で新車販売ディーラーを3店舗運営しているSKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED (旧SOJITZ ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED) を子会社化(平成23年9月30日公表)し連結の範囲に含めております。これにより、報告セグメントは、中古車輸出事業、レンタカー事業、海外自動車ディーラー事業の3事業となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高7,825百万円(前年同期比38.2%増)、営業利益642百万円(前年同期比4.4%減)、経常利益602百万円(前年同期比5.0%減)、四半期純利益197百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界全体では、為替レートが円高水準で高止まりし収益を圧迫しているものの、東日本大震災の影響で高騰していたオークション相場は出品数の増加等により落ち着き始め、また自動車の放射能汚染に対するイメージは輸出時における放射能検査の実施により払拭されてきているため、業界全体の景況感は回復しつつあります。

このような状況のなか、当社グループは、海外における車輛仕入、為替レートに連動した価格設定の見直し等を行い、円高の影響の緩和を図りました。また、アフリカ地域においては現地エージェントとの業務提携により顧客へのアフターサービスの充実を図り、沿岸国主要港から内陸国主要都市への中古車陸送サービスを強化し、顧客へ新しい価値を提供することができました。しかしながら、円高等の影響が大きく当第3四半期連結累計期間の利益率は低下いたしました。

当社グループの輸出台数は、オセアニア地域においては旺盛な個人需要により好調に推移し、ヨーロッパ地域においては期間後半では復調しているものの、期間前半で放射能汚染の懸念により輸出台数が減少したため、合計5,131台(前年同期比7.8%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,037百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益72百万円(前年同期比46.3%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界全体では、期間前半において東日本大震災及び高速道路休日特別割引(上限1,000円)の廃止の影響により個人旅行需要が低迷しておりましたが、夏の行楽シーズンは好天にも恵まれるなど期間後半には例年通りの水準にまで回復いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、TVCMの放映を開始するなど個人顧客の獲得に努め売上高は堅調に推移しております。また、空白地域における新規出店を推進し、直営店のJネットレンタカー浜松駅前店、F C店の灘店、佐賀店、諫早店、長崎大橋店、長崎宝町店、滋賀守山店、弘前店、十和田店、五所川原店、下北店を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は90店、総保有台数は8,739台となりました。レンタル終了車輛の販売台数は499台(前年同期比14.3%減)となりましたが、震災の影響によるオークション相場が高騰したことにより販売単価が上昇し収益が拡大いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,761百万円(前年同期比24.0%増)、営業利益607百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、ワールドカップが終了してもなお経済成長を続け、旺盛な個人消費のもと自動車販売台数も高水準で推移しております。

このような状況のなか、当社グループは、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを子会社化し、南アフリカ共和国の首都プレトリア市においてプジョーディーラー1店舗、ヨハネスブルグ市においてスズキディーラー2店舗、ケープタウン市近郊においてフィアット・アルファロメオディーラー1店舗、スズキディーラー1店舗の合計5店舗を運営しております。新車販売台数は合計336台(プジョー75台、フィアット57台、アルファロメオ31台、スズキ173台)、中古車販売台数は合計399台と順調に推移しております。現在、全店舗黒字化に向けて、経営改善を行っております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,185百万円、営業損失34百万円となりました。

※海外自動車ディーラー事業は、第1四半期連結会計期間より連結対象としているため、前年同期との比較は行っておりません。また、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDの連結対象期間は、平成23年10月1日から平成23年12月31日となります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.5%増加し、6,106百万円となりました。これは、リース債権及びリース投資資産が322百万円、商品及び製品が340百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%増加し、7,484百万円となりました。これは、リース資産(純額)が316百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.4%増加し、13,590百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.1%増加し、7,161百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が350百万円、リース債務が535百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.2%増加し、2,355百万円となりました。これは、リース債務が137百万円増加したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて8.4%増加し、4,074百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し、947百万円となりました。なお、当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は1,593百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益616百万円、減価償却費1,153百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は282百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出186百万円及び貸付による支出63百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,218百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,106百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中古車輸出事業につきましては、各国において現地エージェントとの新規提携を進め、現地での陸送サービスの強化及び対面でのアフターサービスの充実を図ってまいります。

レンタカー事業につきましては、平成24年1月にFC店である広島インター店、佐世保店を新規OPENし、今後も継続的に空白地域におけるFCの新規開拓に注力することにより、直営・FC両面で全国展開を目指してまいります。

海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の収益改善、さらに新規出店の模索により売上の拡大及び利益率の向上を図ってまいります。

なお、平成23年10月25日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 849,118 | 947,347 |
| 受取手形及び売掛金 | 622,963 | 797,331 |
| リース債権及びリース投資資産 | 2,755,733 | 3,078,502 |
| 商品及び製品 | 503,431 | 844,364 |
| 仕掛品 | — | 847 |
| 原材料及び貯蔵品 | 12,512 | 14,015 |
| その他 | 428,134 | 433,666 |
| 貸倒引当金 | △16,672 | △9,501 |
| 流動資産合計 | 5,155,222 | 6,106,575 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| リース資産(純額) | 2,767,684 | 3,084,401 |
| 土地 | 2,845,667 | 2,846,640 |
| その他(純額) | 899,546 | 855,393 |
| 有形固定資産合計 | 6,512,898 | 6,786,435 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 102,607 | 123,748 |
| その他 | 121,419 | 116,256 |
| 無形固定資産合計 | 224,026 | 240,005 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 572,227 | 484,103 |
| 貸倒引当金 | △39,325 | △26,349 |
| 投資その他の資産合計 | 532,901 | 457,753 |
| 固定資産合計 | 7,269,827 | 7,484,194 |
| 資産合計 | 12,425,049 | 13,590,770 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 109,515 | 460,414 |
| 短期借入金 | 1,249,800 | 1,194,431 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 366,284 | 357,884 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | 30,000 |
| リース債務 | 3,906,965 | 4,442,633 |
| 未払法人税等 | 222,925 | 82,911 |
| 賞与引当金 | 62,542 | 33,666 |
| その他 | 499,844 | 559,373 |
| 流動負債合計 | 6,447,877 | 7,161,315 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 110,000 | 95,000 |
| 長期借入金 | 367,060 | 381,147 |
| リース債務 | 1,719,330 | 1,856,730 |
| 役員退職慰労引当金 | 3,070 | 4,213 |
| 資産除去債務 | 10,033 | 10,166 |
| その他 | 8,158 | 7,799 |
| 固定負債合計 | 2,217,653 | 2,355,056 |
| 負債合計 | 8,665,531 | 9,516,371 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,349,000 | 1,349,000 |
| 資本剰余金 | 1,174,800 | 1,174,800 |
| 利益剰余金 | 1,533,172 | 1,678,823 |
| 自己株式 | △618,209 | △618,209 |
| 株主資本合計 | 3,438,763 | 3,584,414 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,987 | △5,239 |
| 為替換算調整勘定 | — | △6,720 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,987 | △11,959 |
| 少数株主持分 | 314,767 | 501,943 |
| 純資産合計 | 3,759,518 | 4,074,398 |
| 負債純資産合計 | 12,425,049 | 13,590,770 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 5,660,107 | 7,825,013 |
| 売上原価 | 3,529,252 | 5,374,748 |
| 売上総利益 | 2,130,854 | 2,450,264 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,458,930 | 1,807,634 |
| 営業利益 | 671,924 | 642,630 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,428 | 2,435 |
| 受取配当金 | 6,355 | 6,494 |
| 為替差益 | — | 3,960 |
| 補助金収入 | 30,804 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 7,176 |
| その他 | 6,933 | 23,503 |
| 営業外収益合計 | 49,521 | 43,571 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 54,002 | 71,223 |
| 為替差損 | 22,421 | — |
| その他 | 10,602 | 12,165 |
| 営業外費用合計 | 87,026 | 83,388 |
| 経常利益 | 634,420 | 602,812 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 7,660 |
| 貸倒引当金戻入額 | 918 | 2,784 |
| 助成金収入 | 8,165 | 4,034 |
| 資産除去債務戻入益 | 2,425 | — |
| 特別利益合計 | 11,509 | 14,478 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,034 | 214 |
| 固定資産除却損 | 7,723 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 535 |
| 貸倒引当金繰入額 | 3,936 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 4,736 | — |
| その他 | 771 | — |
| 特別損失合計 | 18,202 | 750 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 627,727 | 616,541 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 259,739 | 236,527 |
| 法人税等調整額 | 4,894 | 49,456 |
| 法人税等合計 | 264,633 | 285,984 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 363,093 | 330,557 |
| 少数株主利益 | 145,739 | 133,152 |
| 四半期純利益 | 217,353 | 197,405 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 363,093 | 330,557 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,124 | △11,222 |
| 為替換算調整勘定 | — | △7,568 |
| その他の包括利益合計 | 4,124 | △18,790 |
| 四半期包括利益 | 367,217 | 311,766 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 221,500 | 179,458 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 145,717 | 132,308 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 627,727 | 616,541 |
| 減価償却費 | 727,796 | 1,153,969 |
| のれん償却額 | 4,159 | 4,659 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 9,720 | △20,147 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15,276 | △28,875 |
| 受取利息及び受取配当金 | △11,783 | △8,929 |
| 支払利息 | 54,002 | 71,223 |
| 為替差損益 (△は益) | 21,869 | 3,386 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 1,034 | 214 |
| 固定資産除却損 | 7,723 | — |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △7,660 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 535 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 4,736 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △185,444 | △110,541 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 45,736 | △34,513 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △41,290 | 73,330 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △15,117 | 93,467 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | △69,354 | △50,152 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 39,571 | 228,925 |
| その他の固定資産の増減額 (△は増加) | 24,085 | 43,357 |
| その他の固定負債の増減額 (△は減少) | 481 | — |
| その他 | 58,994 | 1,275 |
| 小計 | 1,289,371 | 2,030,067 |
| 利息及び配当金の受取額 | 12,790 | 9,856 |
| 利息の支払額 | △55,684 | △71,197 |
| 法人税等の支払額 | △225,140 | △375,405 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,021,337 | 1,593,320 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の償還による収入 | 4,000 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △121,313 | △186,967 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,805 | 8 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,378 | △62,287 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 8,660 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △22,395 |
| 子会社株式の売却による収入 | — | 10,200 |
| 貸付けによる支出 | △265,106 | △63,536 |
| 貸付金の回収による収入 | 261,284 | 37,522 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △10,472 | △7,645 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 8,555 | 4,864 |
| その他 | △25 | △475 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △125,650 | △282,051 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △50,100 | △62,301 |
| 長期借入れによる収入 | 510,000 | 250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △199,385 | △244,313 |
| 社債の償還による支出 | △15,000 | △15,000 |
| 少数株主からの払込みによる収入 | — | 10,718 |
| 配当金の支払額 | △76,729 | △51,189 |
| リース債務の返済による支出 | △626,022 | △1,106,514 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △457,237 | △1,218,600 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △21,857 | △1,934 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 416,592 | 90,733 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 960,339 | 849,118 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | — | 7,495 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,376,931 | 947,347 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-------------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 中古車輸出 事業 | レンタカー 事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,809,421 | 2,850,685 | 5,660,107 | — | 5,660,107 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 22,963 | 181,913 | 204,876 | △204,876 | — |
| 計 | 2,832,385 | 3,032,598 | 5,864,984 | △204,876 | 5,660,107 |
| セグメント利益 | 134,714 | 553,893 | 688,607 | △16,682 | 671,924 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△16,682千円には、のれん償却額△4,159千円、棚卸資産の調整額△12,522千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|-------------|---------------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 中古車輸出 事業 | レンタカー 事業 | 海外自動車 ディーラー 事業(注) 1 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,017,554 | 3,621,603 | 1,185,855 | 7,825,013 | — | 7,825,013 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 19,985 | 139,745 | — | 159,731 | △159,731 | — |
| 計 | 3,037,540 | 3,761,348 | 1,185,855 | 7,984,744 | △159,731 | 7,825,013 |
| セグメント利益又は損失(△) | 72,321 | 607,039 | △34,987 | 644,373 | △1,742 | 642,630 |

(注) 1. 第1四半期連結会計期間より、子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めたため、海外自動車ディーラー事業が追加となりました。また、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを子会社化し、当第3四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,742千円には、のれん償却額△4,659千円、棚卸資産の調整額2,916千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より子会社であるTRUST ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを、当第3四半期連結会計期間より、SKY ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITEDを新たに連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、25,882千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。